

〔尼崎青少年創造劇場〕平成31（令和元）年度の事業実績

1 主催公演事業

① ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽（室内楽）などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催した。また、平成30年度に引き続き、子どもと大人が一緒に楽しめる演劇や落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに優れた舞台芸術にふれる機会を提供した。

【時期】令和元年5月～2年3月〔13事業（演劇4、落語4、音楽5）〕

事業名	公演年月日	出演者等	入場者数
ピッコロ寄席「桂ざこば一門会」 (大ホール)	元. 5. 11(土)	出演＝桂ざこば、塩鯛、わかば、 米紫、りょうば	353
ピッコロ室内楽サロン<178> 共催 (小ホール)	元. 5. 18(土)	出演＝ストリングアンサンブル ラ・フォンテーヌ	47
シアタースタート てんたん人形劇場 「たったか たったか たったかた」 (中ホール) (文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)	元. 5. 24(金) (2公演)	出演＝てんたん人形劇場	181
文学座公演「ガラスの動物園」 (大ホール)	元. 7. 14(日) 15(月・祝) (2公演)	作＝テネシー・ウィリアムズ 訳＝小田島恒志 演出＝高橋正徳 出演＝塩田朋子、亀田佳明、 永宝千晶、池田倫太郎	722
ピッコロ室内楽サロン<179> 共催 (小ホール)	元. 7. 20(土)	出演＝Duo Luce (デュオ ルーチェ)	65
ピッコロ寄席「桂枝雀一門会」 (大ホール)	元. 8. 17(土)	出演＝桂南光、雀三郎、 文之助、まん我、二葉	426
ピッコロ室内楽サロン<180> 共催 (小ホール)	元. 9. 14(土)	出演＝埴美里&水垣直子	17
ピッコロ室内楽サロン<181> 共催 (小ホール)	元. 11. 9(土)	出演＝Miracle Session (ミラクル セッション)	50
SENDAI 座☆プロジェクト 「十二人の怒れる男」 共催 (中ホール) (文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)	元. 12. 6(金) 12. 7(土) (2公演)	出演＝樋渡宏嗣、渡部ギユウほか 作＝レジナルド・ローズ 翻訳・演出＝宮島春彦	197
劇団風の子北海道 「マーレンと雨姫」 (大ホール)	元. 12. 8(日)	脚本＝多田徹 演出＝なるみてるまさ 出演＝劇団風の子北海道	268
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 (大ホール)	元. 12. 14(土)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥、 桂よね吉、桂佐ん吉、 桂弥太郎	399
ピッコロ室内楽サロン<182> 共催 (小ホール)	2. 1. 11(土)	出演＝ロゼッタ	28
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 (大ホール)	2. 2. 9(日)	出演＝桂米團治、弥太郎、 しん吉	411
合 計 13事業 (内共催 6事業)			3,164

※ 新型コロナウイルス感染症による影響のため、中止した鑑賞劇場（下記の2公演）

① 3/14 ピッコロ室内楽サロン<183>（「ユーフォニスタ！」との共催事業）

② 3/15 ピッコロ寄席「子どもと楽しむ落語会」

② 2019 ピッコロフェスティバル

8月の開館記念日を中心に夏休み期間中の約1か月間を、若者たちの演劇、音楽、バレエなどの発表と交流の場として施設を開放、また優れたプロの舞台芸術の鑑賞を通じて、地域の人々が舞台芸術に親しむ機会を提供した。(昭和53年8月19日開館以降、毎年夏季の開催を継続、42回目) 〔文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業補助〕

【期間】 令和元年7月25日～8月25日

【場所】 ピッコロシアター (大・中・小ホール・展示室など)

区分	部門等	参加団体	出演者数	入場者・参加者
県民参加 企画	バレエ・モダンダンス	12	194	650
	中学・高校演劇	6	114	470
	大学演劇・一般演劇	4	71	145
	展示(洋画、写真、書、パステル画等)	2	59	385
地域団体 連携企画	人形劇フェスタ阪神	14	67	550
	バリアフリーコンサート	10	108	150
	平成演劇教育委員会2019 夏季集中講座「演技・演出技能検定」	22	135	—
体験企画	「ちゃっと!狂言」発表会	—	22	42
	まわし読み新聞&演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみる」	—	3	23
特別企画	ピッコロ劇団ファミリー劇場公演 「歌うシンデレラ」	1	11	1,255
	桂枝雀一門会	1	6	426
	ピッコロ文化セミナー<95> バレエダンサー・英国ロイヤルバレエ団 プリンシパル 平野亮一さんに聞く 「尼崎から世界の“王子”へ」	1	2	354
協賛企画	文化庁・日本劇団協議会事業 2019 エデュケーションワークショップ 「DIE コース in 兵庫」	1	4	17
計		74	796	4,467
				総計 5,263

③ 東北との交流

東日本大震災を契機に、演劇によって東北の魅力为全国発信する活動を続けている SENDAI 座☆プロジェクトと交流を続けている。

ピッコロシアターでの公演は令和元年度で8回目。法廷劇「十二人の怒れる男」は、昨年度ピッコロシアターでの上演により2018文化庁芸術祭優秀賞を受賞。これを記念して昨年度に引続き同作品を上演。関西の演劇ファンを魅了する舞台となった。

(参考)「東北との交流」これまでの主な動き

- 仙台発信の演劇公演の受け入れ：SENDAI 座☆プロジェクト公演
「十二人の怒れる男」(平成23・26・30年、令和元年)、「ハイライフ」(平成24年)、「鳴子温泉郷物語 タルタロスの足湯」(平成25年)、「洗い屋稼業」(平成27年)、「エルドラド ホテル アメリカーナ～TVクルー達の24時間～」(平成28年)
- せんだい演劇工房10-BOXとの共同制作……兵庫・宮城両県での上演「扉を開けて、ミスター・グリーン」(平成24年)
- ピッコロ劇団ファミリー劇場「飛んで 孫悟空」に仙台の俳優が出演(4名)。兵庫(ピッコロシアター)、宮城(仙台市)、福島(いわき市)3県で上演(平成26年)
- ピッコロ劇団おでかけステージ(小学校公演)「学校ウサギをつかまえろ」を宮城県(七ヶ浜町、仙台市)で上演(平成27年)
- 仙台の劇団「短距離男道ミサイル」の5周年記念公演にピッコロ劇団員が出演(平成28年)
- 「仙台シアターラボ」を招へい。芥川龍之介のテキストを「構成演劇」という独特のスタイルで表現した「特別な芸術」を上演(平成29年)

2 自主公演事業

① 県立ピッコロ劇団事業

県立尼崎青少年創造劇場が長年培ってきた人材育成事業の集大成として創設した県立ピッコロ劇団が、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざして、ピッコロシアターなどでの演劇公演を中心に、演劇指導、外部出演など多彩な活動を展開した。

【設 立】平成6年4月1日

【劇団代表】岩松 了（劇作家・演出家・俳優）

【客 員】鶴山 仁（演出家＝文学座）、喜志 哲雄（京都大学名誉教授）

杉本 了三（演劇プロデューサー）、内藤 裕敬（劇作家・演出家＝南河内万歳一座）

別役 実（劇作家）※R2.3 逝去

【劇 団 員】 35名（男17名、女18名） ※令和2年3月31日現在

(ア) 劇団公演の実施

大人向け、ファミリー向け、小学生向けなど、幅広く良質の創作演劇を提供した。

（兵庫県立ピッコロ劇団設立25周年記念事業）
（文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

事業名	公演年月日	出演者等	入場者等
オフシアターVol.35 「炎の人—ゴッホ小伝—」 (中ホール)	31. 4. 12(金) ～14(日) (4公演)	作＝三好十郎 演出＝眞山直則(※) 出演＝ピッコロ劇団員	432
第64回公演 「銭げば！」 (大ホール)	元. 5. 24(金) ～6. 2(日) (6公演)	作＝モリエール「守銭奴」 (鈴木力衛訳 岩波文庫) 台本・演出＝岡部尚子(空晴) 出演＝ピッコロ劇団員	1,205
わくわくステージ 「銭げば！」 (大ホール)	元. 5. 25(土) ～6. 5(水) (8公演)		1,814
市町ホール公演「銭げば！」 うるおい交流館エクラホール(小野市) 太子町立文化会館あすかホール(太子町)	元. 6. 11(火) 14(金) (4公演)		1,652
ファミリー劇場 「歌うシンデレラ」 (大ホール)	元. 8. 3(土) ～4(日) (4公演)	作＝別役 実 演出＝吉村祐樹(※) 出演＝ピッコロ劇団員	1,255
わくわくステージ 「歌うシンデレラ」 (大ホール)	元. 11. 26(火) ～12. 3(火) (8公演)	*12月公演 オーディションによる子供達 も出演	2,262
ファミリー劇場「歌うシンデレラ」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	元. 12. 21(土) ～22(日) (3公演)		1,257
おでかけステージ(小学校公演) 「星のキャンタータ」	元. 10. 17(木) 11. 8(金)、12(火) (5公演)	原作＝三木 卓 台本・演出＝原 竹志(※) 出演＝ピッコロ劇団員	1,775
第65回公演 「ブルーストッキングの女たち」	元. 10. 4(金) ～9(水) (6公演)	作＝宮本 研 演出＝稲葉賀恵(文学座) 出演＝ピッコロ劇団員	1,354
第66回公演 ピッコロシアタープロデュース 「夢をみせてよ」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	2. 2. 28(金) ～3. 1(日) (5公演)	作＝岡部尚子(空晴) 演出＝内藤裕敬 (南河内万歳一座) 出演＝ピッコロ劇団員ほか	1,406
合 計	6作品、53公演		14,412

※はピッコロ劇団員

(イ) 演劇の指導

大学や高等学校等に劇団員を指導者として派遣することにより、演劇を身近に感じてもらおうワークショップ等を県下各地で開催。ピッコロ演劇学校においては、本科及び研究科の主任講師、助手をピッコロ劇団員が、通年で担当。

事業等名		劇団員	実施年月日	実施場所等
ピッコロ演劇学校	本科	山田 裕 菅原ゆうき	通年	ピッコロシアター
ピッコロ演劇学校	研究科	島守辰明 樫村千晶	通年	ピッコロシアター
兵庫県立宝塚北高校	非常勤講師	木之下由香	通年	宝塚北高校
兵庫県立伊丹北高校	非常勤講師	孫 高宏	通年	伊丹北高校
プール学院高等学校	非常勤講師	杏華 中川義文	通年	プール学院高校（大阪市）
大阪市立咲くやこの花高校	非常勤講師	木村美憂	通年	咲くやこの花高校 （大阪市）
甲南女子大学	第三種特任教員	本田千恵子	通年	甲南女子大学（神戸市）
近畿大学	非常勤講師	島守辰明	通年	近畿大学（大阪市）
劇団高円養成塾	講師	島守辰明	通年 毎週土曜日	奈良市ならまちセンター
クラーク記念国際高校芦屋キャンパス	非常勤講師	中川義文	通年	クラーク記念国際高校 芦屋キャンパス
神戸市立小部中学校演劇部	外部顧問	中川義文	通年	小部中学校（神戸市）
ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	講師	樫村千晶 山田 裕	通年	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪（大阪市）
京都造形芸術大学 舞台芸術学科演技演出コース	非常勤講師	田渕詩乃	通年	京都造形芸術大学 （京都市）
特定非営利活動法人東京ソテリア主催 イタリア精神障害者当事者による演劇 演劇集団 Arte e Salute(アルテ・エ・サルテ) 日本人キャストの演技指導		中川義文	通年	京都いわくら病院 （京都市）
豊岡市新任職員研修	講師	本田千恵子 杏華	31.4.8	豊岡市健康福祉施設 多目的ホール
キング醸造（株）新入社員研修	講師	本田千恵子 杏華	31.4.9	キング醸造（株）本社 （稲美町）
兵庫県立神戸鈴蘭台高校 3年生	文化祭演劇指導	島守辰明 風太郎 (5.29、5.31)	31.4.19 元.5.29 元.5.31	神戸鈴蘭台高校
神戸大学附属中学校	上演指導	島守辰明 本田千恵子 樫村千晶	31.4.23	神戸大学附属中学校
西宮市立西宮東高	文化祭上演指導・講師	島守辰明	31.4.24 元.5.24 元.6.12 元.6.23	西宮東高校

あつまれ！ピッコロひろば	吉江麻樹 孫 高宏	元. 5. 7 元. 6. 18 元. 7. 2	養父市立建屋小学校 (ワークショップ3回)
	吉江麻樹 孫 高宏	元. 10. 11 元. 10. 21	(上演指導2回)
	亀井妙子 森 万紀 山田 裕 菅原ゆうき 車 貴玲	元. 8. 26	b & g 小学校WS 中央北生涯学習プラザ (尼崎市)
	亀井妙子 森 万紀 山田 裕 木之下由香 菅原ゆうき 車 貴玲	元. 9. 14	大阪ガスグループ“小さな灯” 運動 児童養護施設小学生WS ピッコロシアター中ホール
	山田 裕 車 貴玲	元. 9. 19	赤穂市立城西小学校 (ワークショップ) (「子ども義士物語」上演指導)
	山田 裕 中川義文	元. 11. 1	
	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	元. 11. 5	井吹台児童館 井吹北学童保育コーナー (神戸市)
	風太郎 吉江麻樹 (3/8) 有川理沙 金田萌果 田渕詩乃	2. 3. 8、22	やんちゃんこ ぷらっとスペース
県立教育研修所 令和元年度 高等学校初任者研修 校外研修 講師	本田千恵子 中川義文	元. 7. 4	県立教育研修所(加東市)
文化庁・日本劇団協議会事業 やってみようプロジェクト おしばいづくりを通して日本語を勉強しよう、体験しよう！ 「にほんごであそぼう」 講師	本田千恵子 菅原ゆうき 中川義文 (8/25、9/1) 亀井妙子 (7/21、8/4)	元. 7. 21 元. 8. 4 元. 8. 25 元. 9. 1	小野市うるおい交流館 エクラ
【令和元年度 AI・HALL 自主企画】 中高生のための夏休みワークショップ 「高校生のための演劇ワークショップ」 アシスタントリーダー	原 竹志	元. 8. 2、3	伊丹市立演劇ホール イベントホール
兵庫県高等学校演劇研究会丹有地区 夏期高校演劇講習会 講師	本田千恵子	元. 8. 6	三田市ウッディータウン 市民センター
兵庫県自治研修所 行政特別研修 講師	本田千恵子 中川義文 田渕詩乃	元. 8. 7～8	兵庫県自治研修所(神戸市)
ピッコロ実技教室「壁新聞を演じてみる」 講師	本田千恵子 中川義文	元 8. 9	ピッコロシアター 小ホール
神戸市立有野北中学校演劇部 指導	中川義文	元. 8. 19、22、 23	有野北中学校
文化庁・日本劇団協議会事業 やってみようプロジェクト「D I Eコース in 兵庫」 講師	本田千恵子	元. 8. 21～23	ピッコロシアター 大ホール

小野市立小野特別支援学校 オペレッタ 指導	吉村祐樹	元. 9. 13 元. 10. 3	小野特別支援学校
兵庫県立こどもの館主催 児童厚生員等研修会 講師	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	元. 9. 26	西神南セリオホール (神戸市)
教員養成のための未来塾 講師	本田千恵子	元. 10. 25	関西学院大学 西宮聖和キャンパス
第 31 回兵庫県高等学校演劇研究会丹有支部 演劇コンクール 審査員	原 竹志	元. 11. 4	三田市立フラワータウン 市民センター
特別講座 「劇、オペレッタの演じ方等表現力について学ぶ」 講師	島守辰明	元. 11. 8	関西保育福祉専門学校 (尼崎市)
兵庫県立神崎高校 コミュニケーション能力育成研修 講師	中川義文 菅原ゆうき	元. 11. 15	神崎高校
県立神出学園ワークショップ 講師	山田 裕 中川義文 菅原ゆうき	元. 12. 2 (WS) 元. 12. 9 (WS) 元. 12. 10 (上演指導) 元. 12. 16 (上演指導)	神出学園(神戸市)
新国立劇場演劇研修所 講師	島守辰明	元. 12. 2～ 20、26	新国立劇場演劇研究所 (東京都)
神戸松蔭女子学院大学 教育実習指導(中・高)	本田千恵子	元. 12. 17	神戸松蔭女子学院大学
県立山の学校ワークショップ 講師	山田 裕 菅原ゆうき	2. 1. 24	ピッコロシアター

(ウ) 外部出演等

他劇団、地域団体等の依頼を受け、演劇公演、放送等での出演や演出など、県民向け県イベントの司会などにも劇団員を派遣。

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
廣田鑑賞会能「大原御幸」 朗読	岡田力	元. 5. 12	金剛能楽堂(京都市)
よしもと主催「お家さん」 出演	岡田力	元. 5. 24～ 6. 2	COOL JAPAN PARK OSAKA TTホール(大阪城公園内)
日本劇作家協会関西支部 関西版 月いちリーディング「まん前のプリちゃん」 出演	亀井妙子	元. 6. 29	common café
西北活性化協議会主催 ミュージカル「オン・ザ・タウン」前夜祭 イベント(絵本読み聞かせ) 出演	亀井妙子 森万紀	元. 7. 11	県立芸術文化センター
阪神南県民センター主催 「夏休み！交通安全コンサート」 司会	本田千恵子	元. 7. 24	ピッコロシアター 大ホール
兵庫県劇団協議会 50周年記念合同公演 「大正七年の長い夏」 出演	中川義文	元. 8. 2～4	神戸アートビレッジ センター

2019ピッコロフェスティバル 「バレエ・モダンダンス」部門 司会	本田千恵子	元. 8. 18	ピッコロシアター 大ホール
おはなし会 出演	風太郎 吉江麻樹	元. 8. 23	塚口駅付近、やんちゃんこ ぷらっとスペース
ワンコインコンサート 来場 700 万人達成セレモニー 司会	本田千恵子	元. 8. 27	県立芸術文化センター 大ホール
フェニックス共済関係兵庫県・神戸市・兵庫県 警合同街頭キャンペーン 出演	山田裕	元. 9. 1	さんちか夢広場（神戸市）
第 13 回にしきた音楽祭 「LALALAミュージシャンコンテスト」 公開予選 司会	本田千恵子	元. 9. 8 元. 9. 15 元. 9. 22	西宮公会堂チャペルホール 西宮市大学交流センター大講義室 阪急西宮ガーデンズ木の葉の ステージ
日本製鉄尼崎製造所 100 周年記念式典 構成・演出、出演	(構成・演出) 眞山直則 (出演) 風太郎 菅原ゆうき 金田萌果	元. 9. 9	アルカニックホール オクト (尼崎市)
秋の鞆公園バラ祭 演出・出演	(演出) 風太郎 (出演) 吉江麻樹	元. 10. 13	鞆（うつぼ）公園ケヤキ並木 フェニックスロータリー (大阪市)
橿原市立新沢小学校生徒の児童劇団 「リトル・ぐらん」 上演指導・演出	風太郎	元. 10. 20	新沢公民館（橿原市）
音訳ライブ「音訳ってなんでしょう？」 出演	木全晶子	元. 10. 26	日本基督教団奈良教会
北摂 SATOYAMA 国際セミナー 司会	本田千恵子	元. 11. 2	宝塚ホテル
諸々亭～戯曲を読みたい会～朗読劇 「たまには落語を演劇してみる」 出演	風太郎	元. 11. 3	音太小屋（ねたごや） (大阪市)
おはなし会 出演	風太郎 吉江麻樹	元. 11. 4	尼崎市立北図書館
突劇金魚公演 「墓場のオサムと機嫌のいい幽霊」 出演	木全晶子	元. 11. 8～10	AI・HALL（伊丹市）
イルミネーション点灯式 司会	本田千恵子	元. 11. 9	西宮市高松公園
介助犬講演会 「介助犬を知っていますか？～シンシア、 エルモ、そしてデイジーと共に～」 演出・出演	(演出) 風太郎 (出演) 吉江麻樹	元. 11. 13	豊中市立豊島北小学校
清流劇場公演「野がも」 出演	孫 高宏	元. 11. 14 ～17	一心寺シアター倶楽 (大阪市)
宝塚市、宝塚市教育委員会、毎日新聞社阪神支局主催 第 21 回身体障害者補助犬シンポジウム 出演	風太郎 吉江麻樹	元. 12. 14	宝塚市立中央図書館

にしきたクリスマスイベント 司会	森万紀	元. 12. 14	芸術文化センター エントランス
一般社団法人コーロ公演 「眠っているウサギ」 出演	菅原ゆうき	元. 12. 21～22	八尾市文化会館 プリズムホール
劇団ガンダム 「ガンダムオリヂン」 出演	風太郎	2. 1. 11	一心寺シアター倶楽
橿原市立新沢小学校生徒の児童劇団 「リトル・ぐらん」「恋と変とお祭りさわぎ」 上演指導・演出	風太郎	2. 1. 12	橿原市新沢地区公民館
西北活性化協議会・芸文センター 阪神淡路大震災 25 周年祈念 「アウトリーチ・コンサート」 司会	本田千恵子	2. 1. 17	西宮ガーデンズ 1 階
おはなしBOX 出演	風太郎 吉江麻樹	2. 2. 16	やんちゃんこ ぷらっとスペース
第 11 回 H20 サンタ NPO フェスティバル 演出・出演	(演出) 風太郎 (出演) 吉江麻樹	2. 2. 26～28	阪急梅田 9 階祝祭広場
加古川シティオペラ・ジュニア「チェルキオ」 演出	中川義文	2. 3. 1	アラベスクホール (加古川ウェルネスパーク内)

(エ) ピッコロサポートクラブへの支援

尼崎商工会議所等が中心となって、平成 8 年に設立されたピッコロ劇団の後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動支援として、情報誌『into』発行など会員向けサービス事業を共同実施。

【会員数】令和 2 年 3 月末 (法人会員・個人会員計 393 口)

【情報誌の発行】年 4 回発行 (A 5 版、24 ページ)、16,000 部発行

【会員向け事業】ピッコロ劇団公演チケット優待、稽古場見学会、茶話会、総会・交流会など

- 稽古場見学会 元. 9. 15 (日) 劇団稽古場
(第 65 回公演「ブルーストッキングの女たち」)
- 総会・交流会 元. 5. 26 (日) 総会・交流会 (「銭げば!」公演終演後)

《令和元年度 劇団関係者等の受賞》

森 万紀 (ピッコロ劇団員)

「第 22 回関西現代演劇俳優女優賞」受賞

第 65 回ピッコロ劇団公演「ブルーストッキングの女たち」の「松井須磨子・ノラ」役で印象深い演技が評価。

※ 関西で活躍する評論家による現代演技論研究会が主催、関西の俳優を対象に年間ベストアクター・アクトレスを選出

喜志哲雄 (元劇場運営委員長、元劇団企画運営委員長、劇団客員、演劇学校講師等)

「令和元年度兵庫県功労者表彰 (県勢高揚功労)」受賞 (元. 5. 3)

長年にわたりピッコロシアター・ピッコロ劇団の発展的な運営に助力、演劇学校の講師をはじめ、演劇分野の人材育成にも尽力。

ピッコロシアター

「令和元年度ユニバーサル社会づくり賞 (推進会議会長賞)」受賞 (元. 7. 30)

音声ガイドや字幕付き上演など障害者への鑑賞サポートが評価。

ピッコロ劇団公演

十三夜会月間賞推薦受賞

- ・オフシアターVol. 35 「炎の人—ゴッホ小伝—」 (4 月)
- ・「ブルーストッキングの女たち」 (10 月)

※ 十三夜会：関西在住演劇評論家有志等により構成

3 人材育成・体験活動事業

① ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇創造について幅広く学ぶ演劇学校（本科 1983 年開設、研究科 1984 年開設）、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ舞台技術学校（1992 年開設）を運営。関西・日本を代表する演劇人、舞台技術者等を講師陣に迎え、プロ、アマチュアを問わない演劇関係人材や地域の文化活動のリーダー、文化施設スタッフなどの養成に継続して努力。（文化庁劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

区分	ピッコロ演劇学校		ピッコロ舞台技術学校
概要	舞台づくりの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や創造力を身につけるなど、将来の演劇創造者、地域に根差した文化活動リーダーを養成		クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設運営の活性化を図るため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術者を養成
期間	平成 31 年 4 月 24 日～令和 2 年 3 月 8 日		
場所	ピッコロシアター		
授業	原則、毎週 2 回（火・木の夜間） 年間数回の特別講義等計約 100 講義		原則、毎週 2 回（水・金の夜間） 年間数回の特別講義等計約 107 講義
講師	■本科 ▶ 主任講師 山田 裕（ピッコロ劇団員） 助手 菅原ゆうき（同） 他 ■研究科 ▶ 主任講師 島守辰明（ピッコロ劇団員） 助手 檜村千晶（同） 他		■美術コース ▶ 主任講師 加藤登美子（舞台美術家） ■照明コース ▶ 水野雅彦（株ハートス） ■音響コース ▶ 林 哲郎（サウンド・ウッドカンパニー代表）
特別講師	岩松了、平田オリザ、伊藤惣一 ほか		服部基、山北史郎、堀尾幸男
入学	本科 38 名 (定員 40 名)	研究科 30 名 (同 20 名)	24 名 (定員 30 名)
卒業	本科 35 名 [37 期生]	研究科 26 名 [36 期生]	22 名 (美術 6 名、照明 11 名、音響 5 名) [28 期生]

【特別講義】

区分	期日	特別講師	講義テーマ
演劇学校	元. 6. 22～23	伊藤 惣一(俳優)	朗読
演劇学校	元. 10. 5～6	岩松 了(劇作家・演出家)	演劇的なことばについて
演劇学校	2. 1. 25	平田 オリザ(劇作家・演出家)	演劇を学ぶとは…
舞台技術学校	元. 7. 6～7	山北 史郎(音響プランナー)	音の話/音響効果の基礎
舞台技術学校	元. 10. 12～13	服部 基(舞台照明家)	舞台照明を考える
舞台技術学校	元. 11. 23～24	堀尾 幸男(舞台美術家)	舞台美術のはじまり

■ 上演実習等

【合同発表会 2019 Piccolo Passo】

区分	期日	公演概要	観客数
演劇学校・本科 37 期生	元. 10. 26～27 〈中ホール〉	「前日～6つのオムニバス～」 台本・演出・出演＝演劇学校本科 37 期生	316
演劇学校・研究科 36 期生 舞台技術学校 28 期生	元. 11. 2～3 〈中ホール〉	「ささやかな日々 ～T. ワイルダー『わが町』より～」 演出＝島守辰明（ピッコロ劇団員） 出演＝研究科 36 期生	248

【オープンキャンパス】

期 日	期 日	概 要	参加者数
舞台技術学校	元. 12. 19<大ホール>	学校説明、オペレーション体験、バックステージツアー	47
演劇学校	2. 1. 19<大ホール>	学校説明、現役学校生と一緒に身体訓練等の授業体験	40

【卒業公演】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数
演劇学校 本科 37 期生 舞台技術学校 28 期生 合同	2. 3. 7 ～ 8 <大ホール>	<p>「妖精たちの砦」～焼け跡のピーター・パン～ 福田善之＝作 山田裕（ピッコロ劇団員）＝潤色・演出 ○出演等＝演劇学校本科生 35 名 ○美術プラン・製作・操作＝舞台技術学校美術コース 6 名 （美術プラン指導＝加藤登美子／装置製作・操作指導＝木村容紹／装置製作指導＝林修司／装置製作助手＝板垣親恵、船越あやか） ○照明プラン・操作＝舞台技術学校照明コース 11 名 （照明監修＝水野雅彦／照明プラン指導＝大川貴啓 照明操作指導＝竹内哲郎／照明技術指導＝岩花さとみ 照明助手＝追上真弓、谷殿彩） ○音響プラン・編集・操作＝舞台技術学校音響コース 5 名 （音響プラン・操作指導＝林哲郎） ムーヴメント指導＝いいむろなおき 歌唱指導＝真鍋みよ子／音楽＝木下 出 舞台監督＝久保克司 演出助手＝菅原ゆうき（ピッコロ劇団員）、 田中よし子（演劇学校OG、元ピッコロ劇団員）、田中ゆり（演劇学校OG）</p>	3.7 — 3.8 — 計 —
演劇学校研究科 36 期生		<p>「悪魔が来た」 アーサー・ミラー原作「るつぼ」より 島守辰明（ピッコロ劇団員）＝潤色・演出 出演等＝演劇学校研究科生 26 名 美術＝渡辺舞／照明＝森田智子／音響＝増田郁子 歌唱指導＝真鍋みよ子／舞踊＝伊賀裕子 照明操作主任＝竹内哲郎／照明操作＝岩花さとみ 照明助手＝追上真弓、谷殿彩／舞台監督＝谷本 誠 演出助手＝櫻村千晶（ピッコロ劇団員）、柳田麻希（演劇学校OG）</p>	

※ 新型コロナウイルス感染症による影響のため、学校生の1年間の成果確認である卒業公演は、授業の一環としての成果発表会と位置づけ、無観客（学校関係者のみ）で実施し、インターネットを使ったライブストリーミング配信を行った。

② ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

令和元年度のピッコロ演劇学校生及び舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となる者及び県立ピッコロ劇団員のうち令和元年度に優れた演劇活動を行った者に贈呈。

対 象 者	備 考
演劇学校本科 (37 期生) 演劇学校研究科 (36 期生) 舞台技術学校 (28 期生) 各 1 名 計 3 名	サントリー地域文化賞の副賞をもとに平成元年3月に創設。その後、神戸新聞奨励賞、久留島武彦文化賞、紀伊國屋演劇賞の賞金、山根淑子氏の寄付等により基金額を増額。
ピッコロ劇団員 2 名 (吉村祐樹、木之下由香)	

③ ピッコロシアター文化セミナーの開催（文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

事業名	期 日	出演者等	入場者数
ピッコロシアター文化セミナー<95> 平野亮一さんに聞く 「尼崎から世界の“王子”へ」 (バレエダンサー・英国ロイヤルバレエ団 プリンシパル)	元. 8. 10 (土)	出演＝平野亮一 聞き手＝ ^{ナツナ} 菘 あつこ	354
ピッコロシアター文化セミナー<96> 笑福亭仁智さんに聞く「笑いの方程式」 (落語家・上方落語協会会長)	元. 9. 7 (土)	出演＝笑福亭仁智	395

④ 研修生等の受け入れ

トライやる・ウィーク、インターンシップなどの研修生を受け入れ。

研 修	学 校 等	参加者
トライやる・ウィーク	尼崎市／大成中、小園中、園田中、南武庫荘中、 宝塚市／南ひばりガ丘中 神戸市／魚崎中、本山中、友が丘中	16 (8校)
インターンシップ等	大学／大阪大、神戸学院大（留学生）、大阪教育大、 神戸松陰女子大、京都女子大 その他／県庁インターンシップ生	13 (6校等)
計		29 (14校等)

⑤ 視察見学等の受け入れ

舞台芸術の公演現場や劇場建築・施設の視察見学等を希望する団体などを受け入れ。

団 体	参加者
宝塚北高（演劇科）、上坂部小、咲くやこの花高（演劇科）、 武庫川女子大（生活環境部建築学科）、富山市立大沢野中、新潟市議会議員、 大阪市経済戦略局文化課文化担当	233 (7団体)

⑥ ピッコロ実技教室の開催

伝統芸能、演劇等の体験的学習やそれらの解説を交えた鑑賞会を開催し、地域の舞台芸術への関心を高め、将来の鑑賞者の育成を意図。

事業名	期 日	指導者等	参加者等
“子どもから大人まで” 幅広い世代向け伝統芸能教室 「ちゃっと！狂言」 (文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)	受講期間 元. 7. 25(木)～28(日)	大蔵流狂言方 善竹隆司 ほか	22
	発表会 元. 7. 28(日)		42
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみる」	元. 8. 9 (金)	ピッコロ劇団員 神戸新聞社NIE推進部 アドバイザー	23
高校演劇研究会阪神支部と連携 ありがとう平成演劇教育委員会 夏季集中講座「演技・演出技能検定」	元. 8. 20 (火)	高校(兵庫県高等学校演劇 研究会阪神支部加盟)教諭 (演劇部顧問) ほか	135

※ 3/27, 28「ピッコロオペラ教室（オペラ公演を含む）」（関西二期会オペラ研修所との連携事業）
：新型コロナウイルス感染症による影響のため中止
(同会研修所の修了手続の一環として、舞台を使った試験のみ3/28に実施)

4 施設の管理運営事業

① 劇場施設の利用状況

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、県民文化の高揚を図るために設置された「県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）」の指定管理者として、鑑賞劇場、文化セミナー等の自主事業を実施するほか、施設の適切な管理と運営、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を創造しようとする県民の練習・発表の場として、ホールや練習室などを広く提供している。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 ・大ホール（客席396席） ・中ホール（収容200人）
 ・小ホール（収容100人） ・楽屋（6室）
 ・練習室（3室） ・資料室 等
 （令和2年4月～：閲覧室及び美術工房を設置）

【ホール等利用実績】 利用者数 平成31年4月～令和2年3月 118,729人
 利用率 平成31年4月～令和2年3月 91.8%

【利用状況】

区 分	利用者数（人）		利用率（%）	
	30年度	31・元年度	30年度	31・元年度
大ホール	58,573	54,656	91.7	91.5
中ホール	21,752	18,353	93.1	90.5
小ホール	24,561	22,359	94.5	92.2
練習室	13,143	13,199	89.9	89.5
展示室	8,077	7,423	—	—
資料室	4,178	2,739	—	—
計	130,284	118,729	92.7	91.8

（注）練習室、展示室及び資料室は、令和2年2～3月の間改修工事のため閉室

【利用料収入】

（単位：円、税込）

区 分		利 用 料 収 入	
		30年度	31・元年度
ホ ー ル 等	大ホール	6,571,100	6,694,750
	中ホール	2,167,000	1,928,500
	小ホール	2,538,400	2,285,450
	楽屋	853,900	871,600
	練習室	1,893,750	1,581,600
	展示室	68,800	86,000
	ホール等計	14,092,950	13,447,900
付属設備		7,094,850	6,600,000
合 計		21,187,800	20,047,900

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う貸館キャンセルによる利用料返金対応 248,400円

(参考) **本館大規模改修工事** (国の地方創生拠点整備交付金等を活用)

* 予算額: 350 百万円

* 平成 31~令和 2 年度に事業実施

・ 第 I 期工事: 令和 2 年 2~3 月 (練習室、資料室、展示室を閉室)

・ 第 II 期工事: 令和 2 年 7~8 月 (本館休館 (事務室は開室))

工期	改修内容	改修箇所・内容	工事内容
第 I 期	人材育成に資する改修	舞台美術工房(地下)の整備	・不要な空調機システムを撤去 ・舞台大道具・小道具を製作する工房に改装
		書庫・交流スペース整備 (1F 資料室)	・資料室の書庫化 ・展示室を開架式閲覧・交流スペースに改装
第 II 期	快適・利便性の向上に資する改修	練習室(1F)の防音機能向上	練習室 3 室の防音機能向上
		ホール天井照明の更新	大・小ホールの天井灯を LED 化
	大ホール内エレベーター設置	大ホールホワイエ奥に障害者等対応エレベーター新設	
第 I 期	安全・長寿命化のための改修	電気設備等更新	高圧変受電設備更新
		給排水管等改修	受水槽・給排水管等の更新
第 I 期		外壁・屋上等整備	外壁補修、屋上防水

② 情報の提供・発信

(ア) 資料室の活用

演劇関係を中心に音楽、舞踊、落語などの舞台芸術関係資料を収集整理して所蔵(書籍・公演パンフレット等約 17,000 点、上演台本約 1,000 点、舞台写真・出演者色紙等約 3,900 点など、合計約 26,000 点)しており、貸し出し、閲覧などにより情報提供。

(主な利用者: 演劇関係者、学校演劇部員、ピッコロ演劇学校・舞台技術学校生など)

なお、令和 2 年度からは、資料室を書庫化するとともに、展示室を開架式の閲覧・交流スペースに改装することで、利用者の利便性向上を図っている。

(イ) 芸術文化情報コーナー

館内の 2 箇所に芸術文化情報コーナーを設置。県内外の芸術文化関連のイベント、チラシや情報誌を配架し、来館者に情報提供。

(ウ) ホームページの利用状況

施設概要、利用案内、事業内容、劇団情報などを掲載し、広く情報発信。

【アクセス件数】 108,015 件 (平成 30 年度 102,146 件)

【地域別件数】 ※カッコ内は比率 (%)

大阪	神戸	尼崎	西宮	京都	東京	その他
36,728 (34.0)	12,742 (11.8)	8,686 (8.0)	3,797 (3.5)	2,365 (2.1)	14,312 (14.3)	29,385 (26.3)

《情報発信の充実 (ホームページの改良)》

- ・ 主催事業 (公演や募集情報等) がより分かりやすくタイムリーに伝わるよう、ビジュアルを工夫する。
- ・ 『今日の劇場』のコーナーをつくり、貸館情報も含め日々の劇場の動きが分かるレイアウトに更新する。
- ・ スマートフォン、タブレット端末等にも対応するレイアウトにして PR 効果を高める。
- ・ フェイスブック、インスタグラム、ツイッターを活用した SNS による発信を行い、施設、公演事業を PR し、地域文化情報の交流を促進する。

【内容】

- * 公演&参加する 公演・募集情報、月間スケジュール 等
- * 劇場を知る&使う フロアガイド、利用案内、空き状況 等
- * ピッコロ劇団 劇団員プロフィール、稽古場ダイアリー 等
- * ピッコロ演劇学校&ピッコロ舞台技術学校 学校案内、学校 Q&A 等

(エ) SNSの活用

・劇場ブログ「今日のピッコロ」	アクセス数	400～500件/日
・劇団ブログ「稽古場ダイアリー」	アクセス数	200～300件/日
・学校インスタグラム	閲覧数	200～300件/日
・全体フェイスブック（登録者数700名）	閲覧数	500～600件/日
・ツイッター	閲覧数	1,500～1,600件/日

(オ) 定期刊行物の発行・配付

月間催し物案内（毎月）やピッコロ劇団後援会機関紙「into」を発行し（年4回、各4,000部程度）、来館者、近隣の公共施設や文化施設等に配布。

(カ) 広報媒体を通じた発信

- ・定期的なプレスリリース送付に加え、公演形態・稽古スケジュールに応じた記者会見や稽古取材、個別インタビュー、新聞社訪問、劇団員等の在阪メディアへの出演を適宜実施。
- ・地元FM局にピッコロシアター・ピッコロ劇団コーナーを運営。
（FM尼崎「ピッコロ通信」毎月第2・4土曜/FM宝塚「ピッコロ劇団公演情報」毎月第2月曜）

[劇団公演等にかかる記者会見、主な個別取材の状況など]

公演名	開催日・場所
第64回公演「銭げば！」	(記者会見) 4/26 中ホール
	(公開稽古) 4/26 別館
	(個別取材) 神戸新聞
第65回公演「ブルーストッキングの女たち」	(記者会見) 9/6 資料室
	(公開稽古) 9/6 別館
	(個別取材) 朝日新聞、神戸新聞
第66回公演「夢をみせてよ」	((記者会見)1/28 ホテルヴィスキオ尼崎
	(個別取材) 朝日新聞、産経新聞

劇団員インタビュー、ピッコロ劇団に係る論評など ※ () 内：劇団員等関係者	掲載新聞
子ども新聞 週刊まなびー (田淵詩乃)	神戸新聞 9/29
補助犬シンポジウム出演者に聞く (風太郎)	毎日新聞 12/13
インタビュー：避難所で公演 励まされた～震災特集～ (平井久美子)	読売新聞 1/6
舞台「夢をみせてよ」開幕 地域・学校とともに四半世紀 (内藤裕敬)	朝日新聞 2/20
県立ピッコロ劇団25周年 演劇評論家 九鬼葉子さんに聞く	神戸新聞 2/21
別役実さん追悼 (岩松了)	読売新聞 3/12
別役実さんが残したもの (平井久美子)	神戸新聞 3/21
非常時こそ見える芸術の魂 震災とコロナ 演劇人は	産経新聞 3/28

③ アクセシビリティに係る勉強会

ピッコロ劇団ファミリー劇場において、初めて「字幕付き上演」を実施するにあたりピッコロ劇団員・スタッフ・職員で聴覚障害についての勉強会を持った。

- ・日時 令和元年7月7日(日)
- ・会場 ピッコロ劇団 稽古場
- ・講師 広報交流専門員、劇団部職員
- ・参加者数 23名
- ・内容 聴覚障害の特性、コミュニケーションの方法、手話について 等